

フランス語

科目責任者 宮川知子
学年・学期 1学年・通年

I. 前 文

本授業は、初めてフランス語を学習する初学者向けのクラスである。文法のみ偏ることのない、基礎的かつ実践的なフランス語会話を習得するための授業を行う。コミュニケーションを中心とするため、フランス語会話の最重要課題の一つである発音には特に重点を置く。物怖じせずにフランス語でコミュニケーションをとるための姿勢を身につけることも目標の一つである。フランス語の基本的な発音練習から始め、初歩的なフレーズ、文法説明および会話練習を中心とする。フランス語を読んだり話したりできるようになることが講義の直接的な目的であるが、同時にフランスの社会・文化などについても触れていきたい。またフランス語は、フランスのみならずアフリカ諸国をはじめとし、世界の様々な地域で話されている言語である。このような視点でフランス語を捉えることにより、途上国を含めた医療現場でのフランス語使用の可能性も実感してもらえらることと思う。

II. 担当教員

宮川知子

III. 一般学習目標

- 1) フランス語文法の基本を学び、簡単な日常会話ができるようにする。
- 2) フランス語の学習を通じて、フランスおよびフランス語圏の社会や文化についての知識を得ることを目指す。

IV. 学修の到達目標

- 1) フランス語の発音ができるようになる。
- 2) フランス語の基本文法を習得する。
- 3) フランス語で簡単な日常会話ができるようになる。
- 4) 簡単な仏作文が書けるようになる。

V. 授業計画及び方法 * () 内はアクティブラーニングの番号と種類

- (1：反転授業の要素を含む授業 (知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
2：ディスカッション, デイバート 3：グループワーク 4：実習, フィールドワーク 5：プレゼンテーション
6：その他)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者	アクティブ ラーニング
1	4	19	水	3	Leçon 00 : Les mots de la classe, Alphabet, <クラスの中で使用するフランス語表現> アルファベ, 母音, 子音	宮川知子	1, 3
2		19	水	4	Leçon 00 : Phonétique, liaison, enchaînement, élision 母音, 子音 (続き), リエゾン, アンシェヌマン, エリジョン		1, 3
3		26	水	3	Leçon 01 : Je m'appelle Denis. <初対面の時> 自己紹介, 挨拶, 数字 (0~20) 主語人称代名詞と動詞être		1, 3
4		26	水	4	Leçon 01 : Je m'appelle Denis. 国籍を表す語, 人稱を強調する代名詞		1, 3
5	5	10	水	3	Leçon 02 : Tu habites où? <相手に質問する> 職業・身分を表す単語, 返答		1, 3

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者	アクティブ ラーニング
6	5	17	水	3	Leçon 02 : Tu habites où? er型動詞habiter, 数字 (21~30)	宮 川 知 子	1, 3
7		24	水	3	Leçon 03 : Un panaché, s'il vous plaît. <カフェでのやり取り> 名詞の性と数, 不定冠詞		1, 3
8		24	水	4	Leçon 03 : Un panaché, s'il vous plaît. 国籍, 否定形, 数字 (31~69)		1, 3
9		31	水	3	Leçon 04 : Tu as une adresse e-mail? <大学近くでのやり取り> 動詞avoir, 否定のde		1, 3
10	6	7	水	3	Leçon 04 : Tu as une adresse e-mail? 疑問文, 年齢		1, 3
11		14	水	3	Leçon 05 : C'est qui? <大学近くでのやり取り> 人物描写, 国名, 所有形容詞		1, 3
12		21	水	3	Leçon 05 : C'est qui? 疑問詞 (qui, où, comment, quel (quelle)) 形容詞の性と数		1, 3
13		21	水	4	1学期のまとめ		1, 3
14	8	23	水	3	Leçon 06 : Qu'est-ce que c'est? <友人の家で> 定冠詞, 物の位置,		1, 3
15		23	水	4	Leçon 06 : Qu'est-ce que c'est? 縮約, 数字 (70~100)		1, 3
16		30	水	3	Leçon 07 : J'adore ça! <街で> 定冠詞, 形容詞の性数一致, 形容詞の位置		1, 3
17	9	6	水	3	Leçon 07 : J'adore ça! 好き嫌いの程度, 代名詞ça		1, 3
18		13	水	3	Leçon 08 : J'aime beaucoup votre tee-shirt! <ファッション> 色, 比較級, 指示形容詞		1, 3
19		27	水	3	Leçon 08 : J'aime beaucoup votre tee-shirt! 非人称構文 (天候), 人称代名詞 (~に) の位置		1, 3
20	10	4	水	3	Leçon 09 : Je fais du football ! <スタジアムで> 頻度の副詞, 部分冠詞		1, 3
21		11	水	3	Leçon 09 : Je fais du football ! 中性代名詞en, siとnon, 動詞prendre, faire		1, 3
22		11	水	4	Leçon 10 : On y va! <大学近くのカフェで> 曜日, 動詞 (aller, venir, mettre, vouloir, pouvoir), 縮約 (前置詞à の後の定冠詞)		1, 3
23		18	水	3	Leçon 10 : On y va! 中性代名詞y 疑問詞combien		1, 3
24		18	水	4	2学期のまとめ		1, 3
25	11	1	水	3	Leçon 11 : Je me lève à 7 heures. <一日の描写> 時間, 日常生活の表現		1, 3
26		8	水	3	Leçon 11 : Je me lève à 7 heures. 非人称構文 (時刻), 代名動詞		1, 3
27		15	水	3	Leçon 12 : Tu m'invites ? <バス停にて> 目的語人称代名詞 (直接目的語, 間接目的語)		1, 3

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者	アクティブ ラーニング
28	11	22	水	3	Leçon 12 : Tu m'invites ? 疑問詞 (pourquoi, quand) 動詞 (connaitre, voir)	宮 川 知 子	1, 3
29		29	水	3	Leçon 13 : Bon appétit! <レストランにて> 注文, 感想 複合過去		1, 3
30	12	6	水	3	Leçon 13 : Bon appétit! 半過去		1, 3
31		13	水	3	Leçon 14 : Qu'est-ce que tu as fait hier? <行動に関する質問> 複合過去 (avoir型とêtre型の使い分け)		1, 3
32		13	水	4	Leçon 14 : Qu'est-ce que tu as fait hier? 複合過去 (avoir型とêtre型の使い分け) 主語代名詞on		1, 3
33	1	10	水	3	Leçon 15 : Tu vas me manquer ! <空港にて> 命令形, 近接未来, 近接過去		1, 3
34		17	水	3	Leçon 15 : Tu vas me manquer ! メールの書き方		1, 3
35		17	水	4	3学期のまとめ		1, 3

VI. 評価基準 (成績評価の方法・基準)

1. 成績は、各授業時に行う確認テスト (2割)、各学期末に行う口頭試験 (2割) および定期試験 (5割)、課題提出等 (1割) から総合的に判定する。
2. 確認テストは事前の予習動画に基づいて出題する。
3. 口頭試験では実際に対話を実践してもらうので、普段から発音を意識して積極的に対話練習に励むこと。

VII. 教科書・参考図書・AV資料

教科書：ニコラ・ガイヤールほか 著『Café Français Nouveau』, 朝日出版社, 2020年 本体価格：2400円+税

※ 仏和辞典および参考書については最初の授業の際に紹介する。

VIII. 質問への対応方法

質問は随時受け付ける。簡単な質問であれば、授業中あるいは直後に対応可。

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）		
医学知識	人体の構造と機能，種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い，他者に説明することができる。	
	種々の疾患の診断や治療，予防について原理や特徴を含めて理解し，他者に説明することができる。	
臨床能力	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け，正しく実践することができる。	
	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	
プロフェッショナリズム	医師としての良識と倫理観を身に付け，患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	
	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け，患者やその家族，あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	
能動的学修能力	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	○
	書籍や種々の資料，情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し，自らの学修に活用することができる。	○
リサーチ・マインド	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち，専門的議論に参加することができる。	
	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち，実践することができる。	
社会的視野	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し，自らの行動に反映させることができる。	
	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け，自らの行動に反映させることができる。	◎
人間性	医師に求められる幅広い教養を身に付け，他者との関係においてそれを活かすことができる。	○
	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け，他者との関係においてそれを活かすことができる。	◎

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

確認テスト，期末試験ともに授業においては口頭で，またLMS等を通じて全体あるいは個別にフィードバックを行う。

XI. 求められる事前学習，事後学習およびそれに必要な時間

毎回必ず予習動画を視聴してから講義に臨むこと。復習を行い，自主学習に努めること。
それに必要な時間はシラバス別冊に記載。

XII. コアカリ記号・番号

シラバス別冊に記載。A7-2)